

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 5 区分

【発行日】平成 25 年 4 月 11 日 (2013.4.11)

【公開番号】特開 2010-248680 (P2010-248680A)

【公開日】平成 22 年 11 月 4 日 (2010.11.4)

【年通号数】公開・登録公報 2010-044

【出願番号】特願 2010-58868 (P2010-58868)

【国際特許分類】

D 2 1 H 15/02 (2006.01)

D 2 1 H 13/26 (2006.01)

F 2 4 F 7/08 (2006.01)

【F I】

D 2 1 H 15/02

D 2 1 H 13/26

F 2 4 F 7/08 1 0 1 B

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 2 月 21 日 (2013.2.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

セルロースパルプと熱可塑性高分子のナノファイバーとを含むことを特徴とする全熱交換用原紙。

【請求項 2】

前記セルロースパルプが J I S P 8 1 2 1 (1 9 9 5) で規定されるカナダ標準ろ水度試験で 1 5 0 m l を超えるろ水度を示すものであることを特徴とする請求項 1 記載の全熱交換用原紙。

【請求項 3】

前記熱可塑性高分子の主成分がナイロンであることを特徴とする請求項 1 または 2 記載の全熱交換用原紙。

【請求項 4】

さらに吸湿材を含むことを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の全熱交換用原紙。

【請求項 5】

熱可塑性高分子のナノファイバーを分散させる工程、前記工程とは別にセルロースパルプを分散させる工程、前記工程で分散されたナノファイバーと前記工程で分散されたセルロースパルプを混合し、抄紙する工程で得られたものである請求項 1 ~ 4 いずれかに記載の全熱交換用原紙。

【請求項 6】

熱可塑性高分子のナノファイバーを分散させる工程、前記工程とは別にセルロースパルプを分散させる工程、前記工程で分散されたナノファイバーと前記工程で分散されたセルロースパルプを混合し、抄紙する工程を有することを特徴とする請求項 1 ~ 4 いずれかに記載の全熱交換用原紙の製造方法。

【請求項 7】

請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の全熱交換用原紙を用いたことを特徴とする全熱交換用素子。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１４】

（５）熱可塑性高分子のナノファイバーを分散させる工程、前記工程とは別にセルロースパルプを分散させる工程、前記工程で分散されたナノファイバーと前記工程で分散されたセルロースパルプを混合し、抄紙する工程で得られたものである請求項１～４いずれかに記載の全熱交換用原紙。

（６）熱可塑性高分子のナノファイバーを分散させる工程、前記工程とは別にセルロースパルプを分散させる工程、前記工程で分散されたナノファイバーと前記工程で分散されたセルロースパルプを混合し、抄紙する工程を有することを特徴とする請求項１～４いずれかに記載の全熱交換用原紙の製造方法。

（７）前記（１）～（５）のいずれかに記載の全熱交換用原紙を用いたことを特徴とする全熱交換用素子。